

# 妊娠豚へのワクチン接種時期と初乳摂取制限が哺乳子豚 の血清中豚熱中和抗体に及ぼす影響

野口倫子<sup>1)†</sup> 鈴木武人<sup>1)</sup> 香宗我部一実<sup>1)</sup> 佐々木羊介<sup>2)</sup>  
青木博史<sup>3)</sup> 長井 誠<sup>1)</sup>



本文はこちら

- 1) 麻布大学獣医学部 (〒 252-5201 相模原市中央区淵野辺 1-17-71)
- 2) 宮崎大学農学部 (〒 889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1)
- 3) 日本獣医生命科学大学獣医学部 (〒 180-8602 武蔵野市境南町 1-7-1)

(2022年4月11日受付・2022年7月12日受理・2022年9月15日公開)

## 要 約

豚熱ワクチン接種から分娩までの期間と初乳摂取制限が哺乳期子豚への豚熱抗体付与に及ぼす影響について調査した。研究には、豚熱ワクチン接種妊娠豚3頭及び未接種妊娠豚2頭から娩出された産子を用い、それぞれ①ワクチン接種～分娩までの期間及び②娩出後6時間の初乳摂取制限の有無で区分した。哺乳中子豚の豚熱に対する中和抗体価は、初乳摂取制限をした群ではしない群に比べて有意に低値を示した。初乳摂取制限をした群のうち、ワクチン接種～分娩までの期間が21日の群では、161日以上群に比べて哺乳中子豚の豚熱に対する抗体価は有意に低下し、生後14日以降の抗体陽性率は0%であった。本研究の結果から、未免疫状態の妊娠母豚への初回ワクチン接種時期と初乳摂取制限の双方は、哺乳期子豚の血中豚熱抗体量に明らかな影響を及ぼすことが明らかとなった。

——キーワード：豚熱，初乳摂取制限，初乳，移行抗体，ワクチネーション。

----- 日獣会誌 75, e180～e185 (2022)